



日本共産党八王子市議団ニュース

# やまこし拓児の 議会報告

19期-No.29  
2012年3月30日

発行  
日本共産党八王子市議団  
TEL 620-7317  
FAX 626-3398



国保税などの値上げ問題を追及＝3月19日予算委員会

日本共産党八王子市議団は、第1回定例会に「国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書」を提案し、全会一致で可決しました。やまこし拓児議員が提案説明を行いました。

国民健康保険は、無職者・失業者・正規労働者等の低所得者が多く所得水準が低いことや、高すぎる保険料・税金が問題になっています。1984年以降、国庫負担金が引き下げられ、その割合は、現在では3割に減っています。そこで、

国保税は、年間所得400万円、円40歳夫婦・子ども2人の家庭では、39,200円、10.6%の値上げに。所得割の税率引き上げだけでなく、均等割も引き上げるため値上げの影響はすべての国保加入世帯に及びます。

後期高齢者医療保険料は、年金収入が夫250万円、妻200万円の場合、値上げ額は合わせて16,800円にも。

## 石森市政 国保13億円、後期高齢4.8億円、介護10億円 総額28億円超の市民負担増

介護保険料は、基準となる所得段階(第4段階)で年額8,500円の値上げ。月額706円は都内自治体の平均値上げ額704円を上回っています。すべての方が値上げに。高齢者にとっては、年金が減らされる中のトリプルパンチです。

### 国民健康保険

## 国庫負担の増額求め国へ意見書 日本共産党の提案で全会一致

意見書は、国庫負担割合の引き上げを行うこと、特に、低所得者層に対する負担軽減策を拡充・強化することを強く求めました。



消費税増税ストップを訴える署名宣伝活動  
＝3月24日八王子駅北口

### 1～3月の主な相談

いつでもお気軽にご連絡ください。

- 生活保護(北野町、長沼町、別所、鎌水ほか)
- 医療費の支払い・国保一部負担金の減免(長沼町)
- 造成法面の安全対策(大塚)
- 違法建築への対応(上柚木)
- 中学校給食の改善(元八王子町)
- 電磁波対策(北野台)
- 後期高齢者医療制度の自己負担割合(南大沢)

## 八王子ニュータウン内 交差点に道路案内標識 を設置へ

やまこし拓児議員は、八王子ニュータウン＝みなみ野地域の内外で道路に案内標識を設置してほしいという要望を取り上げてきました。周辺の都道では2カ所(市役所由井事務所前など)の道路案内標識が設置。

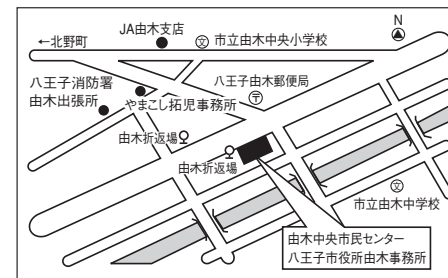
予算委員会総括質疑で再び取り上げたところ、警察との協議も整い、ニュータウン内の2カ所の丁字路交差点(片倉つどの森公園前など)で道路案内標識を6月末までに設置することが明らかになりました。

- シルバー人材センターのあり方(長沼町、南大沢)
- 無料・低額診療事業(長沼町)
- 道路の補修(戸吹町)
- 障害者作業所の家賃補助
- 児童館の運営

### よろず相談案内

- とき 5月23日(水) 午後7時～9時
- ところ 由木中央市民センター  
弁護士が相談に対応します。

※必ず事前にやまこしあてに予約の連絡をお願い致します。



### 連絡先

日本共産党地区委員会 TEL 642-6344 FAX 646-8055  
やまこし拓児議員宅 TEL 678-1374 FAX 678-0276

# 原発ゼロへ、自然エネルギーへの転換を

石森市長 「原発の危険性を再認識。原子力以外の方法でエネルギーの自給を図る方向に移行すべき」

2月29日から3月29日まで、第1回定例市議会が行われました。やまこし拓児議員は、石森孝志市長の所信表明に対する代表質疑、予算等審査特別委員会での総括質疑を行ったほか、国民健康保険における国庫負担増額を求める意見書（1面）の提案説明を行いました。予算案に対しては、国保税などの値上げや大規模開発志向の「攻めのまちづくり」を掲げ、市民にも痛みをわかちあっていたとされたため、反対しました。

東日本大震災から1年。被災地では今なお困難が続いています。日本共産党市議団は、新年度予算の代表質疑で震災の復興支援と原発ゼロ、自然エネルギーへの転換を求めました。

石森市長は、「今後は、国全体で太陽エネルギー等の再生可能エネルギーを活用し、原子力以外の方法でエネルギーの自給を図る方向に順次移行すべきである」と答弁しました。

## 認可保育園の増設など 待機児解消へ333人定員増

新年度新設・増改築保育園

設置場所	事業内容	定員（増員）
堀之内	新設	102人（102）
柗田町	新設	100人（100）
散田町五丁目	新設	60人（60）
片倉町	増改築	130人（1）
元八王子町二丁目	増改築	110人（10）

日本共産党八王子市議団は、保育園の待機児解消へ、認可保育園の増設を繰り返し求めてきました。新年度予算案では、認可保育園5園の新設・増改築、認定こども園1園の新設など保育サービスの定員を2013年4月に333人分増やします。さらに、年度途中の補正予算での対応も含め、さらなる増設を求めています。

## 中小業者の仕事起こし 居住環境整備助成などを拡充

新年度予算で評価できる点としては、今日の深刻な経済状況の中で、バリアフリー化や省エネ・断熱工事を対象とし他居住環境整備助成が前年度に引き続いて予算化されたことが挙げられます。木造住宅の耐震改修工事にも補助が行われます。住宅用太陽エネルギー等利用機器設置補助金も別枠で予算化（1千万円）され、前年度に比べて拡充されました。



## 若者サポートステーション 実施団体を市が国に推薦

日本共産党市議団は、若者の雇用対策や自立を応援するために、足立区の実践例を紹介し、若者サポートステーションを八王子にも設置を求めています。予算委員会の総括質疑で日本共産党議員が改めて求めたところ、市側は「若者サポートステーションの市内開設に向け、実施団体を国に推薦している」と答えました。実現すれば、国からの委託事業として、若者の就職相談や就労支援、ひきこもりやニートとなっている青年の居場所づくりが前進します。



## えっ！黒須前市長が住都公社の役員に。市長の「天下り」!?

市長を退任した黒須隆一氏が、八王子市住宅・都市整備公社（市の外郭団体）の評議員に就任することになりました。公社は、この間川口物流拠点事業を推進しています。事業費216億円といわれるこの事業は大きな利権が生じます。氏に関わり続けることは、親族企業の問題もあり、ふさわしくありません。日本共産党は、この問題を市政の異常と指摘し、撤回を求めました。

## 「財政健全化」と「攻めのまちづくり」は矛盾する

石森市長は、所信表明で「攻めのまちづくり」を強調しました。12年間で893億円の借金を減らした里須市政の「財政健全化路線を継承する」と言いながら、「攻めのまちづくり」で掲げた事業は、下記の通りで、事業費総額は1000億円にも及びます。市の財政状況について「予断を許さない状況」だとしながらこれだけの事業をすべて進めようというのは成り立ちません。

川口物流拠点計画  
216億円（住宅・都市整備公社）

八王子駅北口  
マルベリーブリッジ延伸  
30億円以上

圏央道西  
インターフル化・  
北西部幹線道路  
440億円以上

医療刑務所跡地購入  
65億円

旭町・明神町  
地区再開発  
事業

高尾駅橋上化・  
南北自由通路  
110億円

新体育館の建設  
120億円